時事新報代金の早達便

本社は時事新報代金送達の便を謀り內國通運會社と特約を結びたるに就き左記の地方より御拂入れの新報代金は同會社の貨幣早達便に御依托相成候得ば特別に左表の運賃より二割を引き且つ無配達賃にて送達可致候

現行の郵便小爲替法にては三圓以下の金員を送達するに爲替料三錢郵劵料二錢、書留料六錢都合十一錢を要する事なれ共今此の貨幣早達便に依れば五圓以下は只四錢の運賃のみにて送達し若し送金通知書を發する場合には右の運賃に端書一葉の代金一錢を加へ悉皆の費用五錢にて事足るべきに付新報代價の拂入には最も便利ある法と存候

時事新報社

內國通運會社貨幣早達便取扱箇所

（追々箇所增設の筈）

東京佐內町	尾張熱田	甲斐甲府	越前敦賀
尾張名古屋	下野宇都宮	遠江掛川	山城京都
上野前橋	信濃長野	三河岡崎	上野高崎
信濃上田	岩代郡山	攝津大坂	下總千葉
陸前仙臺	陸中盛岡	加賀金澤	岩代若松
渡島函館	近江大津	下野栃木	越後直江津
讃岐丸龜	備前岡山	常陸水戶	羽前山形
下野足利	長門赤間關	岩代福嶋	石狩札幌
相模藤澤	相模小田原	越後新潟	美濃岐阜
武藏橫濱	駿河靜岡	陸奧青森	

（右の內靜岡、甲府、掛川、岡崎の四箇所は十一月一日より增設したるものなり）

內國通運會社貨幣早達便運賃表

（時事新報代金は此表より二割引を以て送達すべし）

屆金高	運賃
五圓未滿	遠近に拘はらず運賃金五錢
同　十圓迄	同　七錢
同　十五圓迄	同　十錢
同　二十圓迄	同　十三錢
同　廿五圓迄	同　十六錢
同　五十圓迄	同　二十錢

又此早達便に托したる金員不着の節は內國通運會社之を辨償して送出人に損毛を掛けざる定めなり

時事新報

憲法將さに發せんとして集會條例は如何

世上の噂に國會憲法の發布も來年早々なる可しとのことなれば其發布の上は引續き議員撰擧の事も起る可し今日に於ては其撰擧の方法及び人員等の明細は固より知る可らざれども何れにしても日本國民が國民中の人物を撰んで銘々の總名代と爲し國會の議席に出して銘々の利益を謀り不利を防がんとすることなれば最上の人物を撰ぶ可きは申すまでもなきことなれども其人撰の前に先づ以て要用なるは銘々の利害と云ふ其利害の性質を明にするの一事なり例へば田方の地方と養蠶の國と山林の田舍とならんに利害は各々一樣ならず田租の輕くして米價の高きは田方の利益なれば國會に於て若しも其邊に影響す可き議題に逢ふときは其地方の代議士は力を盡して爭ふ可きなれども養蠶國の議員は唯絹絲絹布の無稅ならんことを主張し、山林の田舍議員は材木薪炭の利益を論ず可きのみ此他都邑と在方と海濱川沿と山の手高臺と寒國と暖國と水害國と旱損國と其利害動もすれば反對するものも多ければ各地の撰擧人は先づ自から利害の在る所を詮議討論して然る後に何某ならば必ず吾々の喜憂する所の事實を明にし國會に於て飽くまでも力を盡して深切に我地方の爲めを謀る可きことを撰擧最中その何某も政治の事は至て熱心にて議員に當選せし地方の議員に擧するに於ては多年來の宿論を持出して幾度地方人の滿足を得せしむ可し其宿論と云ふは斯く〳〵の次第なりとて公衆に對して披露することもあらん即ち孰れもなき政談なり又撰擧人の身と爲りては實に大切なることなれば念に念を入れて一席の政談を以て容易に其人を信ず可きにあらず又何某の外に被撰の候補者は幾人もあることなれば彼れと是れとを比較し其才力の剛柔緩急より平生の品行、年來の履歷等に至るまで裏と表と殘る所もなく吟味詮索するが爲めには公然たる相談會もあり又內々の秘密會もあり或は遠近に文通し新聞紙に公言することもあらん或は俄に政友に案內し會議を開くこともあらん其周旋奔走の忙はしきこと恰も村の祭禮の前日の如く又歲末の大晦日の如くなるべくして而して其事柄を尋れば政談ならざるはなし相談內談文通會議一より十に至るまで直接の政談にして來年早々憲法の發布と共に日本國中は酒宴の席にも茶の湯の會にも政治の談を交へ、春風花間に國事を語るが如き奇觀ある可し其奇は實に奇なりと雖も國會議員を撰擧するは地方銘々の利害に關して大切なりと聞くからには其眞實を知るも知らざるも其表題に對して熱心ならざるを得ず人情世界の普通として見る可きのみ

左れば來年は日本國中政談の年柄にして都鄙共に其趣を一にし喋々囂々甚だ賑ふ可きは疑もなき所にして扨こゝに差向き困難あるは彼の集會條例の始末なり現行の集會條例に據れば政治に關する事項を講談論議する爲め(即ち政談の爲め)公衆を集むる者は開會三日前に其事項、其人の姓名、會同の場所を其筋に屆出で〻認可を乞はざる可らず又政談の爲めに社を結ぶ者は其前に社名社則會場及び社員名簿を其筋へ出して認可を乞はざる可らず又政談の會場には警察官吏の監臨を要し其政談が公衆の安寧に妨害ありと認るときは全會を解散せしむることあり又政談の趣旨は廣告するを得ず、文書を發して公衆を誘導するを得ず、政談社は支社を置くを得ず、他の社と連絡通信するを得ず又政談に限らず何等の名義にても多衆相會するとき警察官が治安保持に必要なりと認るときは之に監臨することを得とあり凡そ此邊の大意にて今の集會條例は今の如く政談の演說も少なく政社の組合も稀なる時節には然る可きなれども前に記したる如く來年に入り滿天下政事相談の世と爲りたる其時にも條例の明文通りに之を實行す可きや否や大に思案を要するもの〻如し何郡何村の何兵衞が議員人撰の事に付き少々考への品ありて村中の長老五六人を自宅に會し番茶を喫しながら時に當郡本年の洪水非常とは申しながら拙者の記臆五十年來度々の事にして復た今後の災も計る可らず畢竟堤防の不完全即ち我民力の足らざるより斯くの次第にして此堤防費を我一地方に負擔せしめんとするは素より叶はざることなるに中央政府にて之を顧みざるは畢竟政府が我地方の事情を知らず又實際の水理を明にせざるが故ならん就ては今度國會議員を撰ぶには何村の何某こそ屈強の人物なれ之を撰擧して國會に推出し大に全國水理の事情を談じ我地方の堤防費の如きは斷じて中央政府の負擔即ち日本全國民共同の義務たる所以の道理を明にせざる可らず其理由は云々とて內外の著書新聞紙等を引用講談して既往現在水理に關する政府の政策を喋々辨ずるが如きあらば之を如何せん集會條例に照せば何兵衞は茶話の名義を以て政談を催はし然かも其會同の前に論議の事項、論者の姓名、會同の場所をも屆出でずして明に條例を犯したる者なり之を罰せんか、不問に附せんか、苟も條例のあらん限りは罪人を不問に附するの理なしと雖も議員撰擧の一事公然たる上は全國到る處に何兵衞の茶話の如きは日夜開く所にして實に地方を思ふ人民が人物を撰ぶ要用の爲めに默止し難きのみならず村內無盡講の相談の序にも談じ、宴會終りて歸りの途中にも語る可きことにして逐一これを其筋へ屆出で〻認可を求るなど實際に行はる可らざるや明なり強ひて之を行はんとすれば日本國中日に幾千萬の罪人を生ず可きのみ左れば今の集會條例は憲法發布して國會議員を撰擧する日には必ず之を全廢するか又は大に改正を加ふることならんと我輩の固く信じて疑はざる所なれば五十步百步ならで五十日と百日との相違にして等しく改正するものならば其一日も速ならんことを冀望するものなり

雜報

○米國大統領撰擧の勝敗如何　世人が一日千秋の思をなして待ち設けたる米國大統領改撰期日も早や旬日の近きに迫りたれば目下合衆國諸州にてはレパブリカン、デモクラット の兩黨員各々撰擧の支度に忙はしく種々の方便を利用し新聞紙又は演說等にて敵黨を論難攻擊し自黨の主義を辨明して撰擧人の贊成を得愈々撰擧場裏に輸贏を判するの曉に至らば自黨の首領をして中原の鹿を手にし黨員の意見を實行せしめんと奔走盡力せる其有樣は恰も狂せりと評するの外なき程なるが近着の米國郵船の齎らせし私信中に大統領撰擧の模樣を評して曰く目下大統領撰擧の勝利はクレヴランド氏にあるが如しと雖も未だ何人も兩黨の勝敗を豫言する能はざるなり今回の如く兩黨員の奮激せしは南北戰爭後未曾有の事にして或有名なるレパブリカン黨員某の余(通信員)に語りたる話に依れば同人は現任大統領クレヴランド氏の敎書公布せられたる際までは自黨の勝利覺束なしと思考したれども同氏の敎書出づるに及んで漸く敵黨を攻擊するの材料を見出したりと云へり之に反してデモクラット黨は最も活潑に敵黨を苦め米國今日の大問題なる關稅問題に就きて畢世の智力を集め反對黨がデモクラット黨の主義は保護貿易を打破し自由貿易を實行するにありと公言して經濟の智識に乏しき人民を瞞着せんとするにも拘はらず奮つて辨駁の勞を取れり又本年の撰擧は從前の競爭と其趣と異にし從來レパブリカン黨の主義を贊成せし西部諸州も本年は其旗色を變ずるの疑ありメーン州の撰擧は既に終りたれどもレパブリカン黨は前期の如く多數票を占むる能はざりしなり余の意見にては本年もクレヴランド氏撰擧せらるゝならんと雖ども未だ此の如き豫言を爲すべき時機に達せざるなり云々(ジャパンヘラルド新聞)

倫敦手紙

英國　高橋生

九月二十二日

英蘭銀行

多用に紛れ新報社に對して澤山の文債を生じたるは誠に恐入たる次第、處で此度其利子の一部分にもと存じ一筆啓上致候は有名なるBank of England 即ち英蘭銀行の記事に御座候抑も當英蘭銀行を參觀するには其頭取支配人等重役の紹介を得ざる可らざるが故に手續萬端乙甲にして今日まで其參觀を果さゞりしが昨二十一日幸に參觀の便を得たれば午前十一時頃より始めて同銀行の內部を一覽致候

扨て英蘭銀行は其由來年久しき事にして銀行の歷史即

ち英國財政……行史上に就……銀行內所見……當銀行は手……に成り其後……を固めしよ……を感ぜしめ……間に大に其……と四イーク……るは銀行の……を取り扱ひ……代の舊物に……の事務を取……めて總て之……造にして堅……屋なるに加……事なれば景……擴張の際、……たるが故に……下で銀行重……に引き較べ……ひ降りの謂……同比例に……ん忽ち赤……ルは平氣……も世界の……扱ふ即ち……に附き最……くまで穩……英國銀行に……の事にして……事長けれ……撿査局に……る毎に……用ひて一……定量より……趣向にし……る小管を……競り出で……貨は順次……手にへネ……することと……金庫に蓄……が一磅の……取扱ふや……覽して館……あり寺の……第一局に……替にて例……とする時……ーオル……を得るの……此爲替を……本局より……磅並に十……にして共……する能は

新古器物。書畫。書籍。發賣

尾崎行雄 歐米通信（社會の氣風と新聞、小說、演劇等の關係）本日より續々掲載仕候

矯風演說會
十一月三日(木)挽町二丁目厚生館に於て午後二時開場
星野光多

山梨……
十一月一日